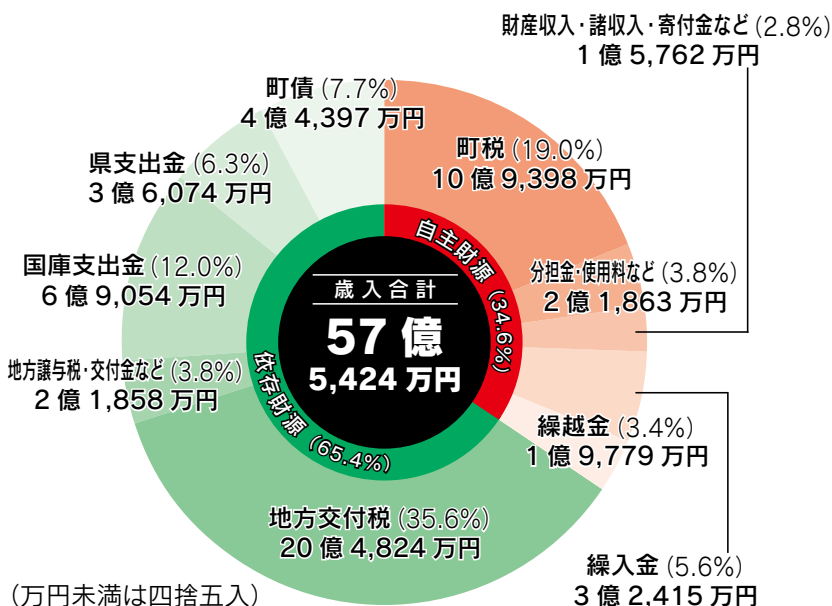


一般会計 歳入



平成 25 年度の一般会計の歳入は 57 億 5,424 万円でした。その内訳は、国や県などに頼った依存財源が約 65.4%、町税などの自主財源が約 34.6%となっています。

前年度と比較すると、自主財源が 1 億 427 万円 (約 0.6 ポイント) 増えています。しかし、自主財源には全体の約 3.4%にあたる前年度からの繰越金 1 億 9,779 万円などが含まれているので、実際の町税などの収入は、約 31.2%という状況です。

依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税の 20 億 4,824 万円で、歳入全体の約 35.6%を占めています。

【決算概要】

一般会計の歳入は前年度に比べて 1 億 9,543 万円の増額の 57 億 5,424 万円、歳出は 1 億 5,079 万円の増額の 55 億 1,182 万円となり、歳入・歳出ともに前年度より増額となりました。

健全化判断比率および資金不足比率はすべて早期健全化基準および経営健全化基準を大きく下回っており、財政の健全性を保っています。

經常収支比率は前年度より 1.8 ポイント改善し 92.6% となりました。財政に弾力性を持たせるため、今後も細心の注意を払い財政運営を行う必要があります。

平成 25 年度の町の財政状況をチェック

決算

平成 25 年度一般会計と特別会計の決算が 9 月定例議会で認定されました。

今月号では桂川町の平成 25 年度決算概要を公表します。

詳しくは、桂川町ホームページをご覧ください。どうか、お問い合わせください。

【問合先】企画財政課 財政係
☎65・1085

平成 25 年度 健全化判断比率 資金不足比率

健全化判断比率	桂川町	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	算定されず	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	算定されず	20.00%	30.00%
実質公債費比率	4.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	10.4%	350.0%	—
資金不足比率	算定されず	20.00%	—

※赤字額や資金不足額が生じていない項目は「算定されず」と表記

【実質赤字比率】

一般会計等の実質赤字の比率

【連結実質赤字比率】

一般会計のほか、特別会計などすべての会計の実質赤字の比率

【実質公債費比率】

公債費等の比重を示す比率

【将来負担比率】

地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率

【資金不足比率】

公営企業の資金不足の比率